

心に残る文化財子ども塾 出雲市立荒木小学校

1. 活動の概要

令和4年10月5日（水）、出雲市立荒木小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。6年生1・2組の皆さんと大仏パネル体験などを行いました。

大仏パネル体験では、皆で協力しながら大仏パネルを完成させ、奈良の大仏が作られた意味やその大きさを実感してもらいました。また、銅剣・銅鐸・銅鏡のレプリカに触り、古代の人々の暮らしなどについて理解を深めました。

2. 活動の様子



大仏パネル体験

3. 活動を終えて

①児童のみなさんから

- ・大仏パネルを皆と協力して作ることができて良かった。
- ・奈良の大仏について実際の大きさがよく分かった。（大きいという意見が多数を占める一方で、思っていたよりも小さかったという意見も複数）。
- ・説明やレプリカを通じて島根県の歴史について詳しく知りたいと思った。
- ・レプリカに触ることで博物館に興味を持った。

②先生から

- ・実物大のパネルを完成させることで実感がわいたと思う。
- ・レプリカに触る機会があり、当時の暮らしの様子に想いを馳せることができたと感じる。
- ・レプリカは貴重な品のため、数に限りがあると思うが、もう少したくさんの児童が触ることができると良かった。

③古代出雲歴史博物館から

- ・先生の意見にあるように、レプリカの数には限りがあるため、全員が触るのは難しかった。今後は時間設定や配分などを柔軟に対応していきたい。
- ・当日は片付けも含めて比較的スムーズに進行できた。